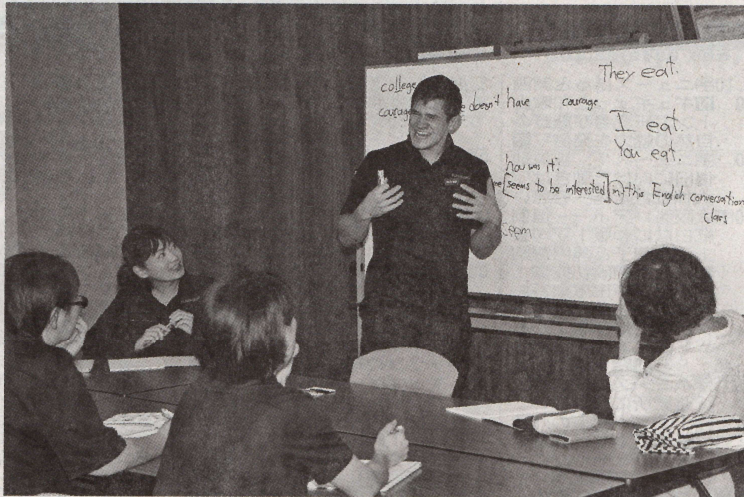


元外国語指導助手

スミスさん 白浜で就職

職場の人気者 「和歌山が大好き」

田辺市の外国語指導助手（ALT）だった米国出身のウッド・スミスさん（28）が今秋、白浜町の企業に就職した。ALTから日本企業社員への転身は珍しいという。持ち前の明るさから職場の人気者になっているスミスさんは「会社のために頑張りたいし、できればずっと日本にいたい」と、流ちょうな日本語で話す。



ケンタッキー州の州都・フランクフォート出身。祖母が日本人で、大学生の時に日本へ4カ月間留学した経験もある。大学卒業後の2014年8月、ALTとして来日。田辺市龍神村にある小中学校5校の担当として19年8月まで務めた。当初は日本語があまり話せなかったが、徐々に上達。「優しく接してくれる人ばかりで和歌山が大好きになり、残りたいと思うようになった」と振り返る。米国で暮らす祖母と電話で話す時は「僕が日本語で、祖母は英語を使っています」と笑う。

スミスさんは9月、工業用メリヤス編み針や部品を製造する「福原ニードル」（白浜）の英語教室で従業員に指導するウッド・スミスさん（中央）

町堅田）に就職した。いまは研修期間中で、各部署を一定期間ずつ移りながら仕事を勉強している。「分からないことがあれば皆が丁寧に教えてくれる。これまでとはまったく違う環境で新しい経験ができています。とても楽しい」と充実した日々を話す。会社では海外出張もあるといい「英語と日本語が話せることを生かしたい」と意気込む。

同社によると、従業員257人の中でスミスさんは唯一の外国人。気さくな人柄もあって「この部署からも『ぜひうちに配属を』との声が上がっている」（総務課）とい

う人気ぶりだ。入社を機に始まった社内の英語教室ではスミスさんが「先生」となり、従業員は楽しみながら英語を学んでいる。現在は20人ほどの「教え子」がいる。